

令和元年度第1回八千代市地域福祉計画及び地域福祉活動計画策定・推進協議会
会議録

【日 時】令和元年8月1日（木）午前10時から午前11時まで

【場 所】福祉センター4階 第3・4会議室

- 【次 第】1 開会
2 議題
 (1) 会長及び副会長の選出について
 (2) 計画の説明について
 (3) 市民アンケート調査について
3 閉会

【出席者】青嵐委員，中澤委員，秋吉委員，山下委員，周郷委員，栗根委員，
横尾委員，福田委員，吉野委員，渡部委員，勝田委員，唐澤委員

【事務局】青井健康福祉部長，村田健康福祉部次長，市原健康福祉部次長，
山本福祉総合相談室長，末友主査，小野主査，宮澤主任主事
八千代市社会福祉協議会 村田局長，新井課長，槌田主事

【会議公開・非公開の別】
公開

【傍聴人の人数】
0名

【末友主査】

定刻となりましたので、令和元年度第一回八千代市地域福祉計画及び地域福祉活動計画作成推進協議会を開催させていただきます。本協議会は八千代市審議会等の会議の公開に関する要領の規定に基づき、会議を公開するとともに、会議録作成のため会議の状況を録音させていただきますので、予めご了承ください。なお、傍聴希望の方はいらっしゃいませんでした。本日、ご欠席の委員のご報告をさせていただきます。吉垣委員様より、欠席のご連絡をいただいております。

はじめに委嘱状についてご案内させていただきます。お時間の都合により、令和元年8月1日から令和4年7月31日までの3年間の任期とする委嘱状につきましては、机上に配布させていただきました。ご査収のほどよろしくお願ひいたします。

続きまして、配布資料の確認をさせていただきます。

(資料確認)

では、本日の流れをご説明させていただきます。本日の議題は(1)会長及び副会長の選出について、(2)計画の説明について。(3)市民アンケート調査についてとなっております。

【山本室長】

それでは、開会に先立ちまして八千代市長服部友則よりご挨拶申し上げます。服部市長よろしくお願ひします。

【服部市長】

みなさんおはようございます。計画策定・推進協議委員会にご参集いただきましてありがとうございます。八千代市でも21の支会等で様々な地域福祉活動をしている社会福祉協議会と一緒に、地域福祉計画及び活動計画を策定する運びとなりました。限られた時間ではありますが、その道の専門家である皆様にぜひとも自分の思い、知見性、経験を活かした中で忌憚のない意見をお寄せいただくことによって、八千代市にとって、あるいは地域にとって、素晴らしい計画が出来上がるものだと考えておりますので、皆様にもよろしくお願ひ申し上げまして、簡単にではございますけれどもご挨拶に代えさせていただきます。それでは、3年間でございますけれども、よろしくお願ひいたします。

【山本室長】

服部市長ありがとうございました。続きまして、八千代市社会福祉協議会会長、綱島照雄よりご挨拶申し上げます。綱島会長よろしくお願ひします。

【綱島会長】

おはようございます。八千代市社会福祉協議会会長の綱島でございます。よろしくお願ひいたします。委員のみなさまにおかれましては、計画策定に関しましてご理解、ご協力を賜り、ご多用の中で委員をお引き受けいただき誠にありがとうございます。また日頃より社会福祉協議会、また地域福祉活動にご尽力を賜り、深く感謝を申し上げる次第でございます。地域福祉活動計画の策定は、当会の念願でありまして、この度、八千代市が策定する地域福祉計画と一体的に策定に取り組みますことは、非常に喜ばしく思っております。以前より行政と民間、市役所と社会福祉協議会は福祉の

両輪だと言われてきたと思います。一体的な計画策定，まさに福祉の両輪の取り組みであり，地域のみなさまのご意見をもとに，相互で連携をし，それぞれの立場において役割を担い進めていきたいと考えております。地域福祉計画は地域福祉の規定や理念，方針，推進方法などの明示，地域福祉活動計画はその理念に沿い地域住民が実践的に活動，行動するための計画となります。委員の皆様にもご意見，ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

【山本室長】

綱島会長ありがとうございました。それでは議事に入る前に事務局から委員の皆様の所属とお名前をご紹介します。

(委員紹介)

【山本室長】

それでは服部市長は公務の都合により，ここで退席させていただきますので，ご了承願います。

【服部市長】

ではみなさん，よろしくお願いします。

【山本室長】

次に事務局の紹介をさせていただきます。

(事務局紹介)

【山本室長】

議題に入らせていただきます。本協議会は本協議会設置要領第5条の規定により，会長が議長となることになっておりますが，本日は委嘱後，初めての協議会のため，会長，副会長が選任されておられません。つきましては議題(1)にて会長が選出されるまでの間，事務局にて議事進行を務めさせていただきます。よろしいでしょうか。それでは議事進行は事務局の健康福祉部長青井が行わせていただきます。

【青井部長】

それでは会長が選任されます間，議事進行を務めさせていただきます。議題(1)会長及び副会長の選出に入ります。会長，副会長の選出につきましては本協議会設置要領第4条の規定により，委員のみなさまの互選により定めることとなっております。まずは会長の選出につきましてお諮りします。どなたかご推薦いただける方はいらっしゃいますか。

【唐澤委員】

今まで他市でも計画に携わっている山下委員を推薦したいと思います。

【青井部長】

ありがとうございます。他にご推薦いただける方はいらっしゃいますか。
それでは山下委員，会長にご推薦ございましたが，お受けいただけますか。

【山下委員】

はい，お受けいたします。

【青井部長】

ありがとうございます。会長は山下委員にお願いしたいと思いますが，よろしいでしょうか。ご意義等ないようですので，会長は山下委員に決定させていただきます。
それでは，会長の選出がなされましたので，副会長の選出より議事進行は山下会長にお願いしたいと思います。よろしくお願いたします。

【山本室長】

山下会長は会長席へご移動をお願いします。それでは会長より一言ご挨拶をいただきたいと思ひます。

【山下会長】

おはようございます。山下と申します。淑徳大学で地域福祉を専門としており，千葉県内あるいは東京都他のいくつかの市区町村の計画等に関わる経験をいただいております。皆様のご意見をいただきながら役割を果たして参りますので，どうぞよろしくお願いたします。

それでは，議事を進めていきたいと思ひます。まずは副会長の選出についてお諮りしたいと思ひますが，どなたかご推薦いただける方はいらっしゃいますか。

【勝田委員】

副会長には民生委員として地域や市民と非常に近い立場で活躍されている，周郷委員を推薦させていただきたいと思ひます。

【山下会長】

ありがとうございます。周郷委員の推薦をいただきました。他にご推薦いただける方はいらっしゃいますか。それでは，周郷委員，副会長にご推薦ございましたが，お受けいただけますか。

【周郷委員】

はい，受けさせていただきます。

【山下会長】

ありがとうございます。それでは周郷委員にお願いしたいと思ひますが，よろしいでしょうか。ご異論ないようですので，副会長は周郷委員に決定させていただきます。周郷副会長，副会長席に移動をお願いします。では一言ご挨拶をお願いします。

【周郷副会長】

副会長という重大な責ですが、会長が素晴らしい方なので一緒にやらせていただきたいと思います。私もずっと八千代市に住んでおり、民生委員という立場でいろいろな経験や活動をしていますので、地域の方で頑張っていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

【山下会長】

それでは議事を進めて参ります。議題(2)計画の説明について、議題(3)市民アンケート調査についてですが、関連する議題となりますので、一括して事務局から説明を受けたいと思っております。

今日初めての会議で、みなさん初めて会われますが、この地域福祉計画と地域福祉活動計画は顔の見える関係になって、いろいろ話をしながら策定していくということにも意味がございますので、もし、できるのであれば短い時間ではございますが、事務局等の説明につきまして一言ご質問、ご意見感想等をいただきたいと思いますので、お聞きいただいた上で議論したいと思っております。それでは事務局から説明をいただきます。お願いします。

【山本室長】

説明に先立ちまして、秋吉委員につきましては10時半頃にご参加とご連絡がありましたので、よろしくお願いいたします。

資料1. 八千代市地域福祉計画及び地域福祉活動計画策定基本方針をご覧ください。こちら1ページ目でございますが、地域福祉計画は社会福祉法第107条の規定に基づき、地域福祉を推進するために顔の見える関係づくり、共に生きる社会を目指すための理念や仕組みを作る行政計画です。すでに施行されている高齢者保健福祉計画や障害福祉計画などの各福祉計画は高齢者や障害者などの個別の対象に向けた具体的な事業やサービスを計画していますが、地域福祉計画は地域で暮らす全ての人たちを対象に、各福祉の計画を横断的に繋げながら整合性を持たせ、基本的な方向性を示す行政計画です。

地域福祉活動計画は地域住民が生活していく上での困りごとや望むことに気づき、その解決や向上を目指す取り組みについて考え、地域全体で支え合い、助け合える地域共生社会の実現を進めるための地域主体による自主的な行動計画です。社会福祉法第109条で地域福祉の推進団体とされる社会福祉協議会が実践的な活動行動計画として作成いたします。

地域福祉の整備、推進そのための活動計画として、社会福祉協議会が策定する地域福祉活動計画は地域福祉計画と地域の課題や社会資源の状況などを共有し、共に地域福祉の推進という目標を掲げながら、それぞれの立場において役割を担い、かつ相互に連携することで福祉の両輪として本市の地域福祉を発展させていくための計画となりますことから、両計画の策定においては八千代市社会福祉協議会と共同し、一体的に策定を行います。

2ページ目をご覧ください。先ほどの地域福祉計画につきましては、各福祉の計画を横断的に繋げながら整合性を持たせ、基本的な方向性を示す行政計画ということでご説明いたしましたが、地域福祉計画は各福祉分野のこうした意味で上位計画と言いますか、基盤となる計画になっていくものでございます。また、総合計画との中間計画として位

置づけられ、地域福祉活動計画と相互連携していく計画となっております。

3ページ目をご覧ください。計画期間につきましては、令和3年度から令和7年度までの5ヶ年計画として策定いたします。

続きまして、4ページ目から6ページ目までをご覧ください。策定にあたりまして、地域住民などの積極的な参画により、地域課題を可視化共有し、新たな取り組みの創出に繋げることで地域の支え合い活性化の端緒になりえます。八千代市社会福祉協議会では地域福祉の推進を図る中で、市内全域を網羅する21支会において関係機関と連携し、わがまち元気プロジェクトより地域の課題や強み、社会資源を掘り起こし、地域の課題解決に向けた支援体制を整備し始めており、地域住民等との深い関わりがあるため、地域課題を円滑に抽出し既にある地域力を一層強化できる体制の構築を目指すことが可能であります。今後、社会福祉協議会と共同し、支会活動などに直接参加することによって、市民の生の声をいただきまして、計画に反映させていきたいと考えております。

計画策定体制といたしましては、学識経験者、社会福祉事業関係者、市民等13名で構成する策定推進協議会で地域住民や各分野の意見を反映するための協議を行い、計画策定・推進及び評価を行います。また、副市長を長とした10部局、37所属長の委員で構成する庁内調整会議では計画策定及び地域福祉の推進に関して情報共有を図り、地域福祉の推進について協議検討をして参ります。6ページ下段が策定体制のイメージ図となります。

タイムスケジュールは7ページの図の通りですが、今年度は策定推進協議会を3回、庁内調整会議を2回、市民アンケート調査、関係団体等アンケート調査、地域懇談会、地域福祉シンポジウムなどを実施していく予定です。計画についての説明は以上です。

次に資料5、八千代市地域福祉計画、地域福祉活動計画策定のためのアンケート調査ご協力をお願いをご覧ください。本計画策定にあたり、市民の福祉に対する考え方や地域活動への参加状況への実態把握をするとともに、ご意見を広く伺い、計画に反映するためにアンケートを実施いたします。また、今回計画を策定するにあたり、株式会社コクドリサーチに計画策定支援として業務委託しております。この市民アンケート調査の詳細につきましては、コクドリサーチよりご説明させていただきたいと思っております。

【コクドリサーチ】

アンケート調査につきまして、簡単にではございますがご説明させていただきます。まず調査の目的についてですが、計画の策定に先立ち、市民のみなさまの地域福祉に関する意識や地域福祉活動の実態などを把握することにより、計画策定の基礎資料とさせていただきますことが目的です。

調査の概要につきましては、調査期間につきましては9月2日から27日までの約1ヶ月間を予定しています。調査方法は郵送により配布、回収させていただきたいと思っております。配布数は3,000。対象者の方は市内に在住している18歳以上の方とさせていただきますと思っております。

調査内容につきましては、まず始めに性別、年齢、居住地域、職業、世帯構成など回答者の方の基礎情報となる項目を伺っております。これらの属性項目を以後の設問でクロス集計し、地域ごと、年齢ごとの特徴などを把握するための設問とさせていただいております。続きまして、少し飛びますが、隣近所との関わりなども伺わせていただいております。近所付き合いの現状や今後どのような付き合い方をしたいかということをお

伺いすることで、近隣との付き合い方に関する意識を把握するものです。地域や年齢別のクロス集計で、その意識の差があるかどうかといった傾向を把握したいと考えております。

また、市民のみなさま同士での助け合いについてはゴミ出しや災害時の手助けなど具体的詳細な項目の今必要とされている手助け、今後10年ぐらいを目安に必要となるのではないかと伺いまして、地域で必要とされている手助けや、将来需要が高まると想定される手助けを把握したいと考えております。

また、福祉サービスについては関心のある福祉分野について伺いすることで、どのような分野であればこれからの地域福祉の担い手として活躍していただけるのか、逆にどのような分野は関心が今は薄いのかといったことを把握したいと思っております。年代別のクロス集計をすることによって、これからの担い手となっていただける方、こういった方に参加を訴求していくターゲットを絞るといったことができるのではないかと考えております。

昨今大きな問題となっております、他者との交流や接点がなく、危機的状況が周囲に伝わりにくくなっている、必要な手助けが届かないと言った社会的孤立や、虐待について地域での気づきや助け合いに大きな期待が寄せられていますので、その実態を把握するための設問も追加させていただいております。

防災活動についてですが、災害時に地域での助け合いは不可欠でございますので、災害時に自身が支え手となれそうな方や、災害時に不安を抱えていることなどを把握したいと思っております。地域福祉全般についてですが、地域福祉全体の意見や意識や地域で手助けできそうなことを伺い、地域福祉の担い手となっていただける方の数や興味についても把握したいと思っております。

以上のような調査内容を単純集計だけではなく、地域や年代ごとなどのクロス集計を通じて、地域課題、地域福祉に対する意識の差や担い手となる方について把握したいと思っております。これらの調査を通して寄せられた貴重な意見を分析させていただき、市全体、もしくは地域課題を把握することで計画策定において重点的に取り組むべきことなどを決定する際の基礎資料とさせていただきたいと思っております。簡単ではございますが、私からの説明は以上です。

【山下会長】

ありがとうございました。これまでの説明につきましてご質問、ご意見等ございますか。

【中澤委員】

資料1の2ページ目ですが、地域福祉を推進するために住民などの地域主体の自主的な行動計画となりますと、住民に対するある意味教育みたいなものというのも発生してくるのでしょうか。

【新井課長】

社会福祉協議会では地域福祉推進を担っていただくボランティアの方ですとか、住民の方に支え合いの必要性ですとか、そういったところの教育というよりは共に考えながら気付いていただくという形でアプローチをさせていただいております。こちらから一

方的に強制して教育するというよりは、みなさんのニーズを参考にして共に考えていきながら、支え合いの体制に共感を持っていただけるような取り組みをこれからしていきたいと考えております。

【中澤委員】

そうしますと、少し失礼な表現になるかもしれませんが、市民の中でも意識の高い一部の人たちという感じになってしまうのでしょうか。

【新井課長】

1年2年の短いスパンで市内全ての住民の方たちへ啓発していくというのは難しいかとは思いますが、意識の高い方から徐々にその共感の輪を広げていきながら、最終的には市民全体に広がっていければいいと考えております。

【中澤委員】

コクドリサーチの方にお訊きしたいのですが、今回使われるアンケート調査は今までにも他市で活用されたことがあるような、実績のある内容なのでしょうか。

【コクドリサーチ】

アンケート調査の内容について、ベースとなるものは他市で行われている調査などの結果を基に作成いたしました。その上で八千代市の特徴などが引き出せるものということで、選択肢なども一部変えています。基本的には他市で行われているもの、その結果などを見させていただいて必要となるものを選ばせていただいております。

【中澤委員】

分析方法なども今まで実績のある方法をお使いになるのでしょうか。

【コクドリサーチ】

はい。

【中澤委員】

分かりました。

【山下会長】

ありがとうございます。他にご意見、ご質問はございますか。

【福田委員】

2点教えていただきたいのですが、1点目はアンケート調査についてです。例えば、健康まちづくりプランだと、アンケートを定期的に行いながら、それを目標に対してどれくらいの推移があるのか統計を取って随時計画を見直していくような取り組みをしています。地域福祉計画のアンケートに関しては、まず1回目を行った後で、継続的に行っていくような内容なのでしょうか。もし行っていくのであれば、どれくらいのサイクルで行っていこうと考えてらっしゃるかというところをまずお聞きしたい。

もう1点が他の下位計画と言うのでしょうか、これは上位計画という位置づけだとしたら、下位計画という表現をさせていただきますが、例えば今回アンケートを取った内容を下位計画の方にも落とし込んでいって、その内容も含めて進めていくようなものなのですか。それとも今回のこの計画は独立した形でアンケートを活用していくのか、アンケートの使い方を教えていただければと思うのですが。

【末友主査】

まずアンケートの継続性については、単年度ではなく今後もという形にはなるのですが今回が初回の計画になりますので、次期計画策定や中間評価等の中で検討させていただいて、継続的にというか、将来的な形で見させていただくということで進めていきたいと思っております。また、アンケート調査の結果については、庁内調整会議にて下位計画についての整合性や結果について、話し合いをしながら進めさせていただきたいと考えております。

【山下会長】

よろしいでしょうか。

【勝田委員】

この計画そのものは非常に大事なものですが、これから年を重ねてこの計画を進めていくにあたって、成果をどんな風な形で捉まえていくのでしょうか。数値化できればいいのですが、数値化するのはなかなか難しいと思います。これだけのことをやって、これだけの成果が出てきたというどのあたりを捉まえて成果と言うのでしょうか。その辺の基準を何かお考えであればお聞かせいただきたいと思います。

またアンケートについては、結果を計画に活かしていくためには、もう少しポイントを絞った方がいいのではないかというような感じはいたしました。その点についてのご意見も伺えればと思います。

【山本室長】

計画の成果については、指標をどうするかというところまでは、話し合いには至っておりません。今後この計画によって、抽出された地域の課題がどのように解決されたのかを、例えば市民の方からの満足度調査などでこの計画がどういうものだったのかというのを諮っていくということは考えていきたいと思っております。

【山下会長】

他にございますか。

【吉野委員】

本アンケートの目的は八千代市の地域福祉に関する実態把握と、先ほどおっしゃったように目的の周知、それから地域間格差も含む地域課題の抽出という3つの目的があるということでしょうか。

もう1つは、障害者自立支援協議会で障害福祉計画の中間評価や時期計画策定の検討を行ったのですが、上位計画が出来上がったら、どういう形で反映されていくのでしょ

うか。この時点でこういう風にこの計画を入れますという明確なご提示があった方が私たちも障害福祉計画などの検討がしやすいかなと思いますので、そのところのご見解もお聞かせいただければと思います。

【山本室長】

各福祉の計画を横断的に繋げながら、整合性を持たせ、基本的な方向性を示すのがこの地域福祉計画という形になりますので、もちろん今後各計画との整合性を図ると共に、方向性などを示していけるような形の計画にしたいとは思っております。いろいろと問題等も出てくるかと思うのですが、計画策定後の中間評価などにより、他の計画などにも整合性が図れるように検討していきたいと考えております

【山下会長】

他にございますか。

【青嵐委員】

人口19万の市で3,000人を分母として、対象年齢別が9グループ、地域が7グループと計63グループに分ける。それぞれの地域で統計学的に有意差が出る値という風に考えて3,000というケースを取ったのだらうと思うのですが、その確認をさせてください。

【コクドリサーチ】

配布数は同規模の市でも2,000程度とする市も多く、3,000という数は決して少ないものではないと思っております。また、地域の状況を把握するための調査としても、十分かとは思っております。抽出につきまして、全て無作為に抽出していくということではなく、例えば地域によって差をつけて、人口の多いところからは多めに取らせていただき、地域の特徴というものを把握したいと思っております。その点においても3,000という数字は決して少なくはないという風に把握しております。

【山下会長】

他にございますか。

【唐澤委員】

意見書でも書いたのですが、問10「え」に障害者基幹相談支援センターとあるのですが、基幹相談センターというと少し分かりにくいと思います。具体的に書いてもらわないと、丸とか付けにくいと思うのですが、いかがでしょうか。

【末友主査】

ご意見ありがとうございます。現状で知っているものということで丸を付けていただこうかと考えていたのですが、詳細の分かりにくい相談先ということで、注釈を付けるということも検討して参りたいと思います。

【山下会長】

他にございますか。

【吉野委員】

提出をした意見書の中身に入ってよろしいですか。

【山下会長】

アンケート用紙の意見ですよね。時間のある限りどうぞ。

【吉野委員】

全体として設問数が多いので、書きたいと思わせる工夫が必要ではないかと思います。白黒だけなのかと、文字のフォントをもう少し変えた方がいいのではないかという意見がありました。それから文字だけだと、高齢者や障害者の中には読めない方もいますし、どういう風に回答を得るのかなと少し不安なところではありました。説明を聞いても理解できるのか分からない人たちも対象とするのであれば、かなり創意工夫が必要であろうという風に思われました。

それから、地域福祉計画と活動計画策定の目的と時期とアンケートを何に使うかという役割をもう少し明確に書いていただかないと、おざなりに書いてしまう人が多そうという意見がありました。

個別の話に入らせていただくと、問1に答えたくないという選択肢がありました。LGBTの方たちにご配慮をなさった書き方なのでしょうか。ご配慮の上でのことであれば、それは注釈として必要なのではないかという意見がありました。答えたくないという選択肢が回収率の悪くなる原因になるのではという不安が多かったです。

それから、問16で助詞が1個抜けているかなと。自立協のこども分科会でアンケート案を検討して、これらの意見がでました。

問11では通勤、通学を含むと入れると答えやすいと思います。

問15では幼稚園、保育園とありますがその後に小学校等をいれるべきではないかと思われま。

問18では八千代市が行っているものと国、県が行っているものを一緒にしてしまうと漫然とした答えしか返ってこないで、市に対する地域福祉計画に対する回答を得るためには対象設問を国、県と市は分けた方がいいのではないかという意見がありました。

それから問27は主語がないので、明確に書かないと回答が違ってくるのではないかという意見が多かったです。

それから問30もK欄に小学校等を入れた方がいいのではないかと思われました。

私どもは自立協のこども分科会としての視点がかかなり多いので、子どもの視点がとても少ないように感じます。学童や公民館活動、図書館活動、公園の整備などももう少しこの地域福祉という中で設問項目を増やしてもいいのではないかと思います。地域福祉計画は児童も幼児も含むのであれば、その視点からの配分も少し考えていただければありがたいという意見がございました。

【山下会長】

貴重なご意見です、どうもありがとうございました。会議の予定時刻に迫っています

が、他にご意見等ございますか。

たくさんご意見いただきまして、その通りだと思います。地域福祉計画のアンケートが市民に届いたとき、地域福祉計画というものが何かよく分からないと思いますし、一体何のためにこれに答えないといけないのか、そして答え始めた時に、質問内容に疑問をもつことがないようにするにはどうすればいいか。これからの福祉のまちづくりを住民が主体的になって取り組もうという意識を作る市民アンケート調査票においては、それが住民と一緒に作った調査票なのか、あるいは時間がないので専門機関等だけで作って進めてきたものなのかによって、当然、出来栄も違って参ります。障害がある方の合理的配慮や高齢の方が歳を重ねて80代以降、あと20年どう生きようかと考える時代にあって、どういう風に様々な方の意見を取り込んでいくのか。子どもの問題にしても、教育の問題と福祉の放課後等デイサービスなど様々な保護者の方のお気持ちがある中で、全世代対向型でこの調査票をどこまで作り込み、絞り込んでいくのかということ、今回初めて八千代市が作る地域福祉計画の肝の部分であるかと思えます。事務局におかれましては各委員のご意見を含めてお考えいただいて、修正作業を進めていくことがよろしいのかなというのが、今のみなさまのご意見を承った状況でございます。

さて、これから修正についてどういたしましょうか。

【末友主査】

ご意見ありがとうございます。文書でも意見をいただきましたので、軽微なものについてはこちらで修正させていただければと思います。他にご意見等があれば、お日にちが短くて大変申し訳ないのですけれども、8月5日までにご連絡、ご相談いただければと思っております。

【山下会長】

電話やメールで8月5日までにご連絡を事務局にされて、今後の取り扱いは会長一任ということでよろしいでしょうか。ありがとうございます。では、市民アンケート調査の意見等につきましては事務局と調整をさせていただきます。みなさまのご意見を取り込んだ調査票にするところから、地域福祉計画づくりが始まりますので、もしよろしければ一言ご意見をお寄せいただきまして、それを反映するような形にできれば、いいスタートが切れるのかなと思います。議事は以上で終わりますので、事務局お願いします。

【末友主査】

ありがとうございます。事務局からは2点ほどご連絡をさせていただきます。次回の協議会の開催につきましては、12月20日の金曜日の午後を予定させていただければと思っております。詳細が決まりましたら、またご案内をさせていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

ま2点目につきましては報酬費のお支払いについてですが、本日の会議にご出席された報酬につきましては口座確認依頼書に記載された口座の方に8月下旬頃のお支払いを予定しておりますのでよろしくお願いいたします。事務局からは以上になります。11時より庁内調整会議との合同研修を行いますので、休憩を少し挟ませていただきます。お時間になりましたら、お席の方にお戻りいただければと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。